

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21112	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(給水基地分)	公営企業局	浄水管理センター	シートB	2
22421	(上水)水質安全対策事業	公営企業局	浄水管理センター	シートB	4
22421	(上水)水質管理能力の向上	公営企業局	浄水管理センター	シートA	6
51211	(上水)施設更新・改良事業(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	7
51211	(簡水・北条)施設更新・改良事業	公営企業局	浄水管理センター	シートA	8
51211	(工水)施設更新・改良事業	公営企業局	浄水管理センター	シートA	9
51212	(上水)業務委託等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	10
51212	(簡水・北条)業務委託等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	11
51212	(工水)業務委託等	公営企業局	浄水管理センター	シートA	12
51212	(上水)修繕等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	13
51212	(簡水・北条)修繕等	公営企業局	浄水管理センター	シートA	14
51212	(工水)修繕等(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	15
51212	(上水)補償	公営企業局	浄水管理センター	シートA	16
51212	(工水)補償	公営企業局	浄水管理センター	シートA	17
53323	(上水)漏水防止対策事業(浄水管理センター分)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	18
62213	(上水)民間的経営手法の継続	公営企業局	浄水管理センター	シートA	19
62213	(工水)民間的経営手法の継続	公営企業局	浄水管理センター	シートA	20
69999	(上水)その他の支出(動力費、薬品費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	21
69999	(簡水・北条)その他の支出(動力費、薬品費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	22
69999	(工水)その他の支出(動力費等)	公営企業局	浄水管理センター	シートA	23

令和4年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リダー名	担当者名
令和3年度	部局等名	課等名	担当グループ名	連絡先
	部等長名	課等長名	リダー名	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21112	(上水)震災対策事業(施設耐震化)(給水基地分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	危機管理体制の強化		市長公約	332	みんな安心332	
取り組みの柱	災害時に迅速な給水活動を行うため、指定避難所となる小中学校に応急給水栓を整備するなど、避難場所や避難所標識の整備・維持管理を行うとともに、備蓄物資や必要な資材などの整備を進めます。				みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2019				

事業の目的(どのような状態にするか)	災害対応能力の向上を目指し、震災時に飲料水を確保するとともに、給水車等への注水作業ができる拠点として非常用給水設備を整備する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水道は市民生活や都市活動に欠くことのできないライフラインであり、特に災害等の緊急時には飲料用のほか、医療活動や消防活動にとっても重要であるため、給水車の動線を考慮した給水基地を整備することで、災害時に迅速な応急給水活動を行う。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 市之井手浄水場	[事業内容] 災害時対応能力の向上を目指し、震災時に飲料水を確保するとともに、給水車等への注水作業ができる拠点として非常用給水設備(応急給水口の複数化)を整備する。				
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	3	終期の種別 1:事業の終了時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出		項	水道施設改良費	目	浄水施設費ほか	R3 予算措置時期	当初	繰越
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)				30,281					31,817			0
決算額(B)(単位:千円)				0					31,782			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0					0			0
	県支出金			0					0			0
	市債			0					0			0
	その他			0					0			0
一般財源			0					31,782				0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									給水基地の確保 31,782千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									決算額のうち、28,283千円は前年度繰越額			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)					30,281			35

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	給水基地の確保					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できた。	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		給水車の給水基地を整備することで、災害時に迅速な応急給水活動を行うことができるため。	
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	給水車等への注水がスムーズにできるよう訓練を実施する。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	
R4年度の目標					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
	成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)		活動指標									
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容		水道は市民生活や都市活動に欠くことのできないライフラインであり、特に災害等の緊急時には飲料用のほか、医療活動や消防活動にとっても重要であるため、給水車の動線を考慮した給水基地を整備することで、災害時に迅速な応急給水活動を行う。									

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質検査担当	連絡先	977-0292
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質検査担当	連絡先	977-0292
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 文士	リダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22421	(上水)水質安全対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	安定した水の供給			主な取り組み	-	
主な取り組み	水質管理及び漏水時・緊急時の対応強化		市長公約	-		
取り組みの柱	計画的に上水道などの水質管理を行うとともに、民間が設置する貯水槽などの安全性の向上に努め、水質の適正管理を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2019, 水道法第4条				
事業の目的(どのような状態にするか)	臭気物質を適切に処理できる活性炭注入装置の整備を促進すること。 濁度、色度、残留塩素などを24時間連続して自動計測する装置の整備を促進すること。 クリプトスポリジウムを除去できる施設の整備をすること。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水質への関心の高まりにより、さらなる水質の向上及び適正管理を行うため。 臭気物質対策については、平成23年度に臭気物質の発生があったため。 クリプトスポリジウム暫定対策指針への対応のため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 臭気物質対策、残留塩素対策、クリプトスポリジウム対策					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	原水及び浄水費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					1,047				1,047		0
決算額(B)(単位:千円)					886				927		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		0				0		0
			一般財源		886				927		0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							臭気物質自動監視装置の維持管理等 927千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										R4年度から市之井浄水場ほか運転等管理委託に含めた。	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		161				120		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	臭気物質自動監視装置の維持管理等					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標	適切に設備等の維持管理を行い、安全な水の供給を維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
	本指標の設定理由											
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
	指標の種類				最終目標値の 設定の考え方							
	本指標の設定理由											
	成果指標 (3つまで設定可)	水質基準不適合率	%	目標値	0	0	0	0	0	0	目標値	0
				実績値	0	0	0	0	0	達成年度		
達成度				100	100	100						
指標の種類		6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)			最終目標値の 設定の考え方		水質基準に不適合な水を供給しないことが求められる。					
本指標の設定理由		水質基準に不適合な水を供給しないことが求められるため										
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
			達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方							
本指標の設定理由												
		%	目標値							目標値		
			実績値						達成年度			
	達成度											
指標の種類				最終目標値の 設定の考え方								
本指標の設定理由												
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標											
	成果指標	適正な水質管理を行うことにより、水質基準に適合した水を供給できた。										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質保全担当	連絡先	977-0510
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	水質保全担当	連絡先	977-0510
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	22421	(上水)水質管理能力の向上		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる				重点プロジェクト	-	
施策	安定した水の供給				主な取り組み	-	
主な取り組み	水質管理及び漏水時・緊急時の対応強化			市長公約	-		
取り組みの柱	計画的に上水道などの水質管理を行うとともに、民間が設置する貯水槽などの安全性の向上に努め、水質の適正管理を図ります。				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019、水道法第4条						
事業の目的(どのような状態にするか)	安全で安心できる水の安定供給を目指す。						
背景(どのような経緯で開始したか)	水質への関心の高まりにより、さらなる水質の向上及び適正管理を行うため。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 上水道事業によって給水している水 [事業内容] 水質検査の信頼性を保証する規範である優良試験所規範(GLP:Good Laboratory Practice)の認定継続 水安全計画、水質検査計画に基づく水道水質の管理						
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		~	令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	原水及び浄水費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					63				575		575
決算額(B)(単位:千円)					62				62		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳		国支出金			0				0		0
		県支出金			0				0		0
		市債				0			0		0
		その他				0			0		0
		一般財源				62			62		575
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								水道GLPの認定に伴う維持費 62千円		水道GLPの認定に伴う維持費 575千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		1			513			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水道GLPの維持						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し。		
R4年度の目標	水道GLPの維持。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	水道GLPの維持		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)施設更新・改良事業(浄水管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	「アセットマネジメント」の実践や「経営戦略」の策定を行い、ライフサイクルコストを考慮した計画的な上水道施設の更新に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019,水道法第5条								
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため、計画的な更新改良を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があるため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備								
	[事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら更新改良を進めている。								
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)		~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	浄水施設費ほか	R3予算措置時期	当初	繰越
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)							729,764		432,678			652,816
決算額(B)(単位:千円)							253,004		295,775			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0		0			0
			県支出金				0		0			0
			市債				0		0			0
			その他				0		0			0
			一般財源				253,004		295,775			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								無停電電源装置取替工事 11,448千円 北条電算設備更新工事(繰越) 51,575千円				無停電電源装置取替工事 4,642千円 受配電設備ほか電気設備更新工事 90,810千円 北条電算設備更新工事 108,900千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								決算額のうち、246,418千円は前年度繰越分 流用増あり				予算額のうち、94,500千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				476,760		136,903			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	無停電電源装置取替工事 ほか											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できている。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安全で安心できる水の安定供給ができています。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。			
R4年度の目標	計画的に更新改良を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				無停電電源装置取替工事 ほか			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51211	(簡水・北条)施設更新・改良事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約					
取り組みの柱	「アセットマネジメント」の実践や「経営戦略」の策定を行い、ライフサイクルコストを考慮した計画的な上水道施設の更新に取り組みます。									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		松山市簡易水道事業経営戦略								
事業の目的 (どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため、更新改良を行う。									
背景 (どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があるため。									
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	[対象] 北条地区簡易水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがある施設、設備の更新改良を迅速に行う。									
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道資本的支出		項	簡易水道建設改良費	目	取水施設費ほか	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							770		0			2,871
決算額(B)(単位:千円)							418		0			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0		0			0
			県支出金				0		0			0
			市債				0		0			0
			その他				0		0			0
			一般財源				418		0			2,871
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算										水道施設設備取替工事 2,871千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				352		0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	予測できない施設、設備の改修工事											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			突発的な故障や改修工事が発生しなかった。				
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)			左記の理由									
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。			
R4年度の目標	突発的な故障が発生するおそれがある施設、設備の更新改良を迅速に行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				予測できない施設、設備の改修工事			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	副主幹	井早 宗由	担当者名
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	副主幹	井早 宗由	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(工水)施設更新・改良事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-				
取り組みの柱	「アセットマネジメント」の実践や「経営戦略」の策定を行い、ライフサイクルコストを考慮した計画的な上水道施設の更新に取り組みます。					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	工業用水道事業法第11条、松山市工業用水道事業経営戦略									
事業の目的(どのような状態にするか)	施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生するおそれがあるため、計画的な更新改良を行う。									
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障が発生する可能性があるため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 工業用水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら更新改良を進めている。									
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出ほか		項	工業用水道建設改良費ほか	目	取水施設費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					4,400				94,738		64,864
決算額(B)(単位:千円)					2,211				8,480		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		0				0		0
			一般財源		2,211				8,480		64,864
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							流量計取替工事 2,912千円		水道施設設備取替工事 660千円 取水ポンプ取替工事 18,900千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									予算額のうち、54,700千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		2,189				86,258		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	流量計取替工事 ほか										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水の安定供給ができています。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。		
R4年度の目標	計画的に更新改良を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				水道施設設備取替工事 ほか		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	井上 勉	担当者名
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主幹	尾澤 新	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51212	(上水)業務委託等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2009、水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的 (どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより、効率的・効果的な業務遂行を図るものである。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより、経費を削減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)		~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用		目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					567,747			567,496				625,076
決算額(B)(単位:千円)					535,259			533,782				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0			0				0
			県支出金		0			0				0
			市債		0			0				0
			その他		0			0				0
			一般財源		535,259			533,782				625,076
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							市之井手浄水場ほか運転等管理委託 282,968千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 178,457千円				市之井手浄水場ほか運転等管理委託 322,575千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 182,459千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		32,488			33,714				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 ほか							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できている。			
施策への貢献度 (目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		安全で安心できる水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			
R4年度の目標	適切に業務遂行されているか管理監督を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む) 市之井手浄水場ほか運転等管理委託 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 ほか			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)業務委託等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略							
事業の目的(どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより、効率的・効果的な業務遂行を図るものである。							
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより、経費を削減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					10,200				9,098		6,178
決算額(B)(単位:千円)					9,569				8,945		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金			0				0		0
		県支出金			0				0		0
		市債			0				0		0
		その他			0				0		0
		一般財源			9,569				8,945		6,178
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							市之井手浄水場ほか運転等管理委託	7,866千円		市之井手浄水場ほか運転等管理委託	3,883千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		631				153		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安全で安心できる水の安定供給ができています。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。		
R4年度の目標	適切に業務遂行されているか管理監督を行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				市之井手浄水場ほか運転等管理委託 ほか		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	井上 勉	担当者名
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主幹	尾澤 新	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)業務委託等	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	工業用水道事業法、松山市工業用水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	専門業者等に委託することにより、効率的・効果的な業務遂行を図るものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより、経費を削減し、人材を効率的に配置するものである。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 施設の維持管理等に関する業務、産業廃棄物に関する業務等 [事業内容] 業者等と契約し、適切に業務遂行されているか管理監督業務を行うものである。					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		～ 令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)						90,695		89,008		99,122
決算額(B)(単位:千円)						92,761		92,857		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			92,761		92,857		99,122
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							市之井手浄水場ほか運転等管理委託 66,672千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 22,252千円		市之井手浄水場ほか運転等管理委託 73,799千円 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 16,700千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			-2,066		-3,849		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場ほか運転等管理委託 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	適切に業務遂行されているか管理監督を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む) 市之井手浄水場ほか運転等管理委託 高井神田・かきつばた浄水場維持管理業務 ほか		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (実施コード)	51212	(上水)修繕等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約			
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的 (どのような状態にするか)	突発的な故障に対応すること及び予防保全のため、修繕するものである。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ、突発的な故障が発生するため。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をするか)	[対象] 上水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら修繕するものである。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)		~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						138,989		122,715		95,244
決算額(B)(単位:千円)						99,246		90,589		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金				0		0		0
		県支出金				0		0		0
		市債				0		0		0
		その他				0		0		0
		一般財源				99,246		90,589		95,244
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							市之井手排水処理設備修理工事 45,100千円 ポンプ・モーター修理工事 24,234千円	市之井手排水処理設備修理工事 48,840千円 ポンプ・モーター修理工事 27,423千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			39,743		32,126		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手排水処理設備修理工事 ほか							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。				
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。		
R4年度の目標	現地調査のうえ、計画的に修繕を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市之井手排水処理設備修理工事 ポンプ・モーター修理工事		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・北条)修繕等	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略					
事業の目的(どのような状態にするか)	突発的な故障に対応すること及び予防保全のため、修繕するものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ、突発的な故障が発生するため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	[対象] 北条地区簡易水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら修繕するものである。					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		～ 令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,452		5,423		1,452	
決算額(B)(単位:千円)				0		2,222			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			0		2,222		1,452	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						水道施設設備修理工事 220千円 侵入者防止対策強化工事 2,002千円		水道施設設備修理工事 1,430千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,452		3,201	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水道施設設備修理工事、侵入者防止対策強化工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し。	
R4年度の目標	現地調査のうえ、修繕を適切に行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	水道施設設備修理工事	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)修繕等(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業経営戦略							
事業の目的(どのような状態にするか)	突発的な故障に対応すること及び予防保全のため、修繕するものである。							
背景(どのような経緯で開始したか)	施設の老朽化により経年劣化が生じ、突発的な故障が発生するため。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 工業用水道事業に使用している施設、設備 [事業内容] 施設、設備の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら修繕するものである。							
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					2,002		1,903		792
決算額(B)(単位:千円)					1,506		130		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				1,506		130		792
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						侵入者防止対策強化工事 105千円		水道施設設備修理工事 770千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	496		1,773		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	侵入者防止対策強化工事							
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できている。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水の安定供給ができています。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。	
R4年度の目標	現地調査のうえ、修繕を適切に行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		水道施設設備修理工事	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)補償	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地下水等を取水するため、地元等との協力関係を築く。					
背景(どのような経緯で開始したか)	浄水場等の建設時に取水権利を有していた者と交わした覚書等により補償を行っているものである。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	[対象] 地元土地改良区、漁業協同組合 等 [事業内容] 覚書等を交わしている団体に対し補償を行っている。					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	原水及び浄水費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)					19,372				18,771		19,418
決算額(B)(単位:千円)					18,166				17,015		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金			0				0		0
		県支出金			0				0		0
		市債				0			0		0
		その他				0			0		0
		一般財源				18,166			17,015		19,418
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								灌漑用井戸に係る揚水経費 11,250千円 揚水経費補償等 3,575千円	灌漑用井戸に係る揚水経費 13,000千円 揚水経費補償等 3,691千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)					(A)-(B)			1,206	1,756		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し。	
R4年度の目標	覚書の内容に沿った適切な補償を行っていく。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)補償	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地下水等を取水するため地元等との協力関係を築く。					
背景(どのような経緯で開始したか)	浄水場等の建設時に取水権利を有していた者と交わした覚書等により補償を行っているものである。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	[対象] 地元土地改良区、漁業協同組合 等 [事業内容] 覚書等を交わしている団体に対し補償を行っている。					
受益者負担の状況	負担の有無		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						18,043		17,336		16,479
決算額(B)(単位:千円)						13,190		13,667		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金				0		0		0
		県支出金				0		0		0
		市債				0		0		0
		その他				0		0		0
		一般財源				13,190		13,667		16,479
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							灌漑用井戸に係る揚水経費 10,127千円 揚水経費補償等 2,244千円	灌漑用井戸に係る揚水経費 12,000千円 揚水経費補償等 2,244千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			4,853		3,669		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し。	
R4年度の目標	覚書の内容に沿った適切な補償を行っていく。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	灌漑用井戸に係る揚水経費 ほか	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	施設の更新・修繕担当	連絡先	977-7439
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(上水)漏水防止対策事業(浄水管理センター分)			事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-	
施策	節水型都市づくりの推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	水資源の有効利用				市長公約	-		
取り組みの柱	水資源の有効利用を図るため、上水道などの漏水防止対策を推進します。					-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019,水道法第5条							
事業の目的(どのような状態にするか)	水圧調整局に設置している電動弁の老朽化が著しいため、計画的に取り替えを行い、漏水防止の観点から給水圧コントロールの効率化を進める。							
背景(どのような経緯で開始したか)	電動弁の老朽化によって経年劣化が生じており、突発的な故障等が発生する可能性があること、効率的な給水圧コントロールを行うため。							
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	[対象] 上水道事業に使用している電動弁 [事業内容] 電動弁の設置及び更新時期から計画を立て、現場状況等を見ながら更新を進めている。							
受益者負担の状況	負担の有無				「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成	29	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出ほか		項	水道建設改良費ほか	目	配水施設費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度					R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)							282,640		158,895		271,740
決算額(B)(単位:千円)							88,006		0		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0		0		0
			県支出金				0		0		0
			市債				0		0		0
			その他				0		0		0
			一般財源				88,006		0		271,740
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算										水圧調整弁取替工事 271,740千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										予算額のうち,153,600千円は前年度繰越額	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				194,634		158,895		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	水圧調整弁取替工事								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	2か年計画であるため、予定どおり実施できている。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し。		
R4年度の目標	計画的に設備の更新・効率化を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			水圧調整弁取替工事		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62213	(上水)民間の経営手法の継続			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	効率的な行政を推進するための体制強化				市長公約			
取り組みの柱	民間との適切な役割分担のもと、指定管理者制度やPFI制度、包括的民間委託など、民間の力を活用することで、経営の効率化に努めます。							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2019						
事業の目的(どのような状態にするか)	高井神田浄水場及びかきつばた浄水場の整備に伴うモニタリングを行い、適切な維持管理が行われていることを確認する。							
背景(どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を節減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容(誰に対して、何をとするのか)	[対象] 高井神田浄水場、かきつばた浄水場 [事業内容] 企業局が実施する月例、四半期モニタリングに対する支援業務、突発事象に対するモニタリング業務、年総括モニタリング業務、財務モニタリング業務							
受益者負担の状況	負担の有無				「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成	20	~	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	総係費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					2,607				2,607		2,853
決算額(B)(単位:千円)					2,468				2,764		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		0				0		0
			一般財源		2,468				2,764		2,853
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 2,764千円		DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 2,853千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		139				-157		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できている。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		安全で安心できる水の安定供給ができています。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し。			
R4年度の目標	モニタリングの内容について精査する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リーダー名	主幹	井上 勉	担当者名
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	浄水管理担当	連絡先	977-7436
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リーダー名	主幹	尾澤 新	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	62213	(工水)民間の経営手法の継続			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進					主な取り組み	-	
主な取り組み	効率的な行政を推進するための体制強化				市長公約			
取り組みの柱	民間との適切な役割分担のもと、指定管理者制度やPFI制度、包括的民間委託など、民間の力を活用することで、経営の効率化に努めます。							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-				-		
	施策	-				-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的 (どのような状態にするか)	高井神田浄水場及びかきつばた浄水場の整備に伴うモニタリングを行い、適切な維持管理が行われていることを確認する。							
背景 (どのような経緯で開始したか)	これまで職員を配置して行っていた業務を民間業者等に委託することにより経費を節減し、人材を効率的に配置するものである。							
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	[対象] 高井神田浄水場、かきつばた浄水場 [事業内容] 企業局が実施する月例、四半期モニタリングに対する支援業務、突発事象に対するモニタリング業務、年総括モニタリング業務、財務モニタリング業務							
受益者負担の状況	負担の有無				「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成	20	~	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		目	総係費	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度	R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					298		298		326
決算額(B)(単位:千円)					282		316		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				282		316		326
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 316千円		DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託 326千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用増あり			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	16		-18		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できている。				
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。		
R4年度の目標	モニタリングの内容について精査する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		DBO事業にかかる維持管理モニタリング業務委託		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	69999	(上水)その他の支出(動力費、薬品費等)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他				重点プロジェクト	-	
施策	その他				主な取り組み	-	
主な取り組み	その他			市長公約	-		
取り組みの柱	その他				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019						
事業の目的 (どのような状態にするか)	事業を行うために動力費及び薬品費を支出する。						
背景 (どのような経緯で開始したか)	事業を行うためには動力を要し、浄水処理を行うには薬品を要するため。						
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力、浄水処理に要する薬品 [事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出、浄水処理用の薬品費支出						
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		~	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						390,040		370,106		336,402
決算額(B)(単位:千円)						322,439		328,610		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			322,439		328,610		336,402
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							動力費 283,272千円 薬品費 45,339千円		動力費 279,312千円 薬品費 57,090千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	67,601	41,496		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。	
R4年度の目標	各施設ごとの運転状況から、適正な契約電力や必要量について検討する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	69999	(簡水・北条)その他の支出(動力費、薬品費等)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他				重点プロジェクト	-	
施策	その他				主な取り組み	-	
主な取り組み	その他			市長公約	-		
取り組みの柱	その他				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市簡易水道事業経営戦略						
事業の目的 (どのような状態にするか)	事業を行うために動力費及び薬品費を支出する。						
背景 (どのような経緯で開始したか)	事業を行うためには動力を要し、浄水処理を行うには薬品を要するため。						
対象・事業内容 (誰に対して,何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力、浄水処理に要する薬品 [事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出、浄水処理用の薬品費支出						
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道事業費用		目	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用			
				R2年度		R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)					464	430		386
決算額(B)(単位:千円)					345	331		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金			0	0		0
		県支出金			0	0		0
		市債			0	0		0
		その他			0	0		0
		一般財源			345	331		386
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					動力費 307千円 薬品費 24千円	動力費 341千円 薬品費 45千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	119	99		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	安全で安心できる水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し。		
R4年度の目標	各施設ごとの運転状況から、適正な契約電力や必要量について検討する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出 浄水処理用の薬品費支出		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	尾澤 新	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	浄水管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	977-7438
	部等長名	宇野 一生	課等長名	半田 丈士	リダー名	主査	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	69999	(工水)その他の支出(動力費等)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他				重点プロジェクト	-	
施策	その他				主な取り組み	-	
主な取り組み	その他			市長公約	-		
取り組みの柱	その他				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業経営戦略						
事業の目的 (どのような状態にするか)	事業を行うために動力費を支出する。						
背景 (どのような経緯で開始したか)	事業を行うためには動力を要するため。						
対象・事業内容 (誰に対して,何をやるのか)	[対象] 動力に要する電力 [事業内容] 浄水場等施設の動力費(電気代)の支出						
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~	令和	12	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	原水及び浄水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)						32,868		27,764		28,116
決算額(B)(単位:千円)						25,321		24,166		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			25,321		24,166		28,116
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							動力費 24,166千円		動力費 28,116千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		7,547		3,598		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	浄水場等施設の動力費(電気代)の支出						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できている。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	工業用水の安定供給ができています。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し。	
R4年度の目標	各施設ごとの運転状況から,適正な契約電力や必要量について検討する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		浄水場等施設の動力費(電気代)の支出	